

第75回手術手技研究会

演題発表動画作成マニュアル PowerPoint2016

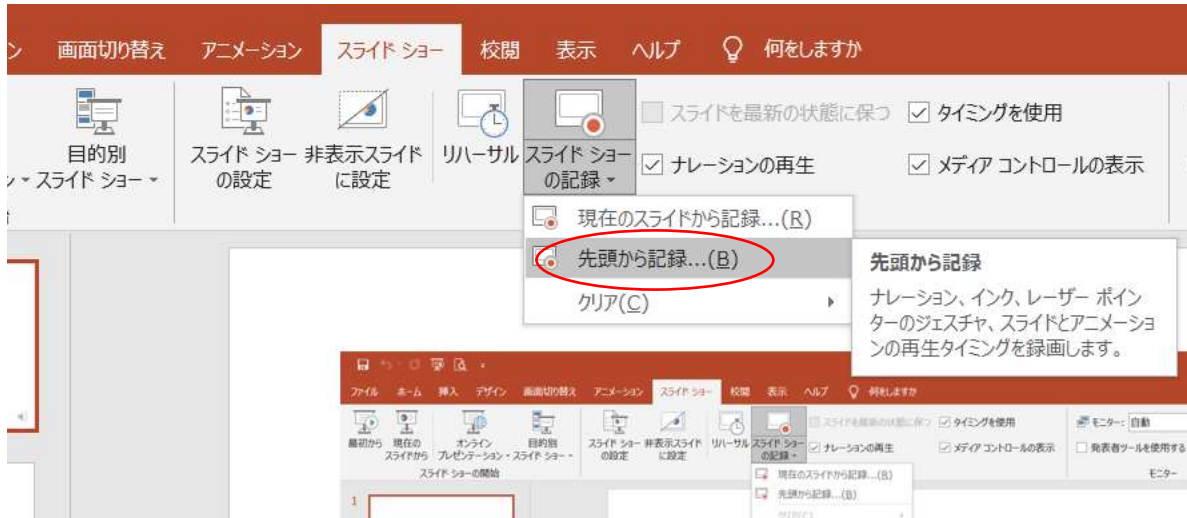
発表音声データ作成にあたり

<p>① ワイド画面 16 : 9 フル HD1080p (1920×1080) で作成してください。 Microsoft PowerPoint 形式 ※推奨バージョン Windows 版 2016/2019 (2010、2013 などの場合、使用機能や表示の仕方に違いがあります。)</p>
<p>② 発表スライドは以下の構成で作成をお願いいたします。 1 枚目 演題名 2 枚目 利益相反 (COI) について 3 枚目～ 講演内容</p>
<p>③ ナレーション録音をするにあたり、予めパソコンにマイクかヘッドセットを接続した状態にしてください。録音時は極力静かな場所で、雑音が入らないようご注意ください。 (パソコンに内蔵のマイクを使用の際は、マウスや紙をめくる音などが入りやすくなります。)</p>
<p>④ スライドが切り替わる時は音声が途切れたり、<u>一時的に小さく</u>なってしまいます。 次のスライドへ進める際はひと呼吸おいて、余白を作るようお勧めします。 全ての録音を一度にする前に、1～2 ページだけ録音をし、実際にスライドショーで聞いてみて音量や音質をご確認ください。カメラがオンになる場合はオフにしてください。</p>
<p>⑤ 非表示設定をしない限りすべてのスライドが動画に組み込まれます。 発表に使用しないスライドは削除するか非表示スライドに設定をしてください。</p>
<p>⑥ 録音の前に「スライド一覧」で表示し、スライドの下に秒数表示がないか確認ください。 (入っている場合は画面の自動切換え設定を解除する必要があります。)</p>
<p>⑦ 動画のハイパーリンクは使用できません。 動画を使用する場合はスライドに《挿入》してください。</p>
<p>⑧ 録音が終了した後は、必ずパワーポイントの保存も行ってください。</p>
<p>⑨ ウィルスチェックは必ず行ってください。</p>

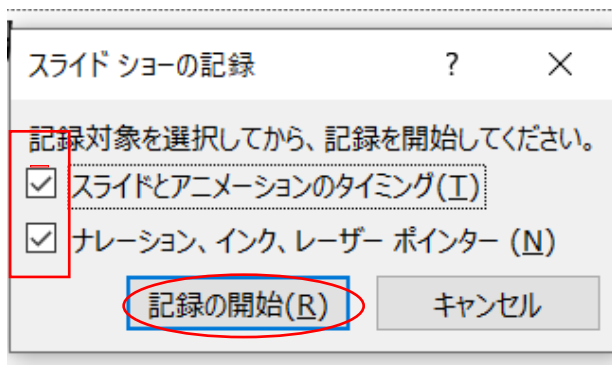
お問い合わせ：運営事務局 コンベンション静岡 75jsast@convention-shizuoka.org

音声記録

1. ご使用になるパワーポイントの資料を開きます。
2. スライドショータブからスライドショーの記録を選択、「先頭から記録」を選択します。



6. (2016 の場合) チェックボックスに☑をいれ、ご準備ができたなら「記録の開始」をクリックします。

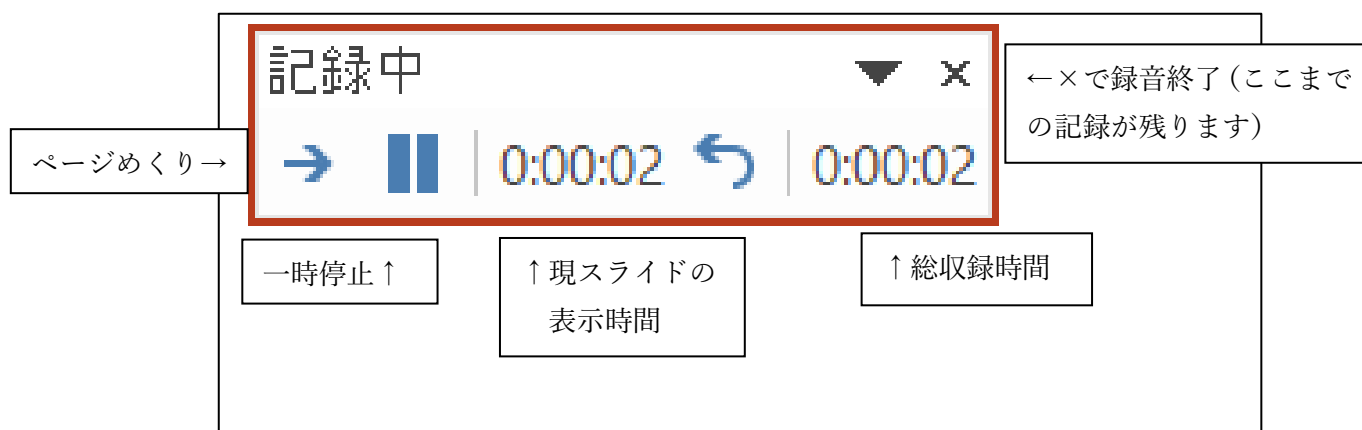


7. パワーポイントの資料が全面に開き、録音が自動でスタートします。



- 2019 の場合、左上に記録ボタンが

次のスライドへ移動する場合は、話すのをひと呼吸休んでから移動すると、きれいに録音できます。



レーザーポインター表示：ctrl+マウス左クリック

その他ペンなどの機能は録音中に右クリックし、選択可能です。

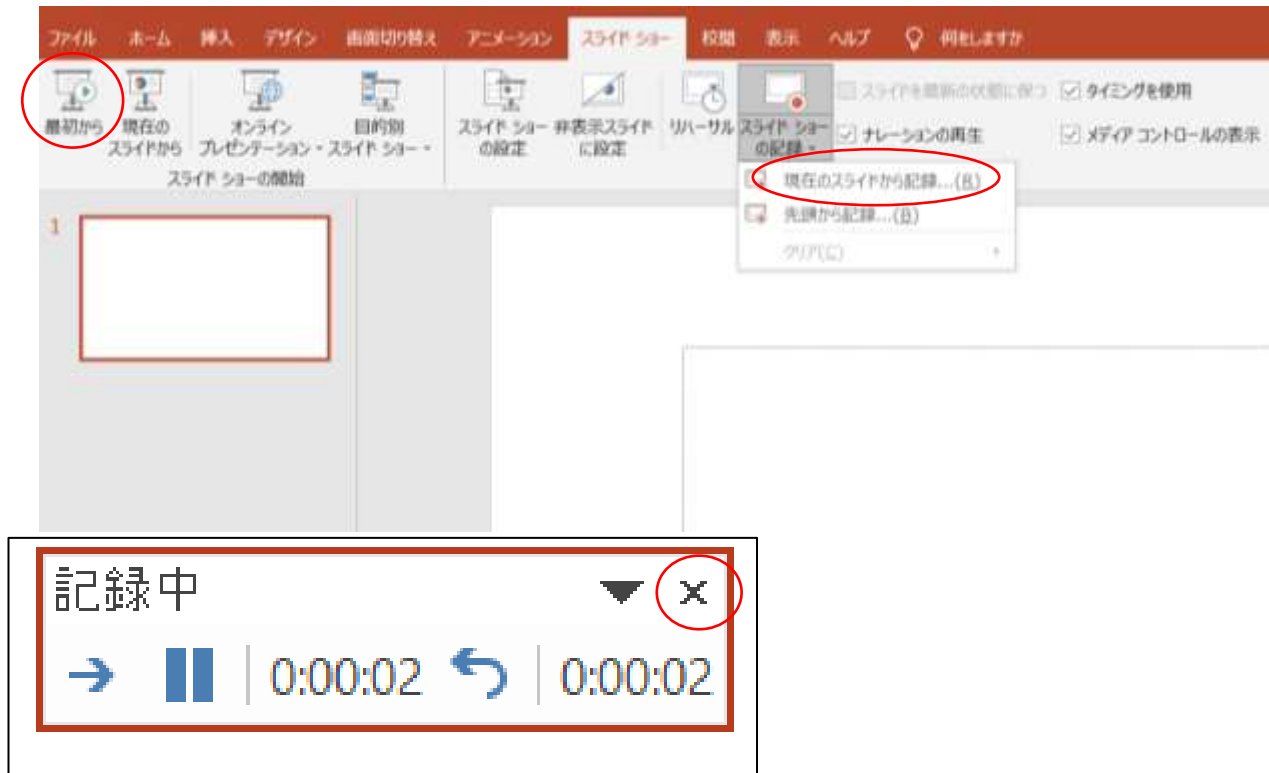
※文字装飾アニメーションなどが入っている場合や、動画が挿入されている場合など、自動録音にならない場合がございます。

また、PPTバージョンにより、ウィンドウの表現に違いがある場合がございます。

8.全ての録音が終了したら、左端の「最初から」ボタンで確認してください。

途中のスライドを修正録音したい場合は 修正するスライドを開き、「現在のスライドから記録」を選択します。

録音ができたらページをめくらずに「X」で閉じるとそのスライドだけ修正ができます。



本番のプレゼン中には見えなくなりますので、スライド上で誤って消してしまわないようご注意ください。

9. 確認ができれば、名前を付けて保存してください。

ファイルの種類は「PowerPoint プレゼンテーション (.pptx)」が自動で入ります。



主題、ビデオ、受賞講演発表の先生方・・・「セッション名+演者氏名」

サージカルフォーラム、デジタルポスター発表の先生方・・・「演題番号+演者氏名」

mp4 への書き出し

1. ファイルメニューの「ファイル」→「エクスポート」→「ビデオの作成」を選択します。



「フル HD (1080 p)」と、「記録されたタイミングとナレーションを使用する」を選択します。



9. 「ビデオを作成」をクリックします。

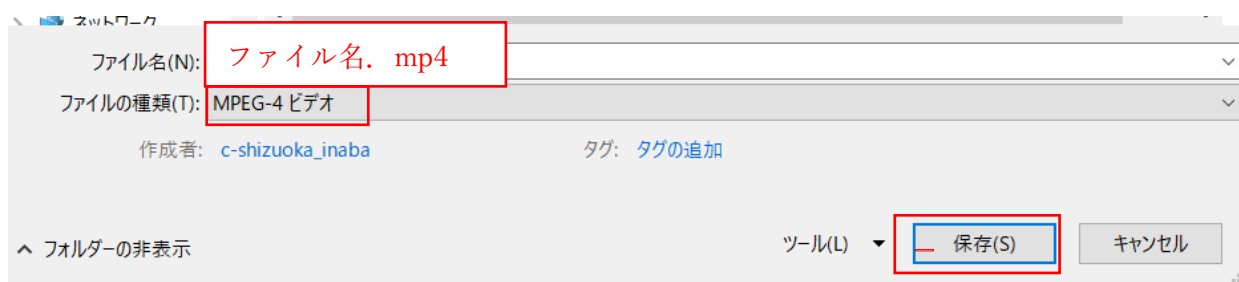


10. 動画ファイルを任意の場所に保存します。

主題、ビデオ、受賞講演発表の先生方・・・「セッション名+演者氏名」

サージカルフォーラム、デジタルポスター発表の先生方・・・「演題番号+演者氏名」

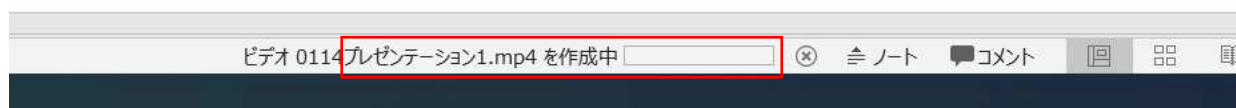
ファイルの種類を「MPEG-4 ビデオ」にして保存してください。



「保存」をクリックすると作成中のバーが表示され、音声データへの書き出しが始まります。

(スライドの枚数やセッションの時間により、書き出しの時間が変わります。

PC 内の他のアプリケーションを閉じていただくことをお勧めします)



※完成したデータは必ず再生して確認してください。(このマニュアルの 1 ページ目もご確認ください)

- ・音声、スライドのめくりタイミングにずれはありませんか？音が途切れているところはありませんか？
- ・電話やメールの着信音、PC のシステム音、キーボードのタッチ音や書類をめくる音が大きく入っていませんか？